

達成目標に基づく成績評価に関するガイドライン (先端科学技術専攻)

(平成25年4月9日教育研究専門委員会決定)
(平成25年9月3日教育研究専門委員会改正)
(平成26年2月4日教育研究専門委員会改正)
(平成28年3月2日教育研究専門委員会改正)
(令和3年12月1日教育研究専門委員会改正)
(令和6年1月10日教育研究専門委員会改正)
(令和7年9月3日教育研究専門委員会改正)

北陸先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、達成目標及び成績評価の客観性、厳格性を担保するために以下のとおりガイドラインを定め、これに沿って正課教育を行うこととする。

1. 本学は、先端科学技術の確かな専門性とともに、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ、社会や産業界のリーダーを育成することを人材育成の達成目標として正課教育を行う。特に、博士前期課程においては、幅広い基盤的専門知識を理解し問題解決に応用できる人材育成の役割を、また、博士後期課程においては、世界的に通用する高い研究能力と俯瞰的な視野を持ち、問題の発見と解決のできる研究者・技術者育成の役割を果たす。
2. 本学は、各授業科目に対して、科目番号（ナンバリング）、単位数、担当教員、達成目標、概要、教科書、参考書、関連科目、履修条件、講義計画、準備学修等の具体的な指示、評価の観点、評価方法、評価基準等を明確に定め、シラバス等にて開示する。
3. 授業担当教員は、シラバスに開示した基準に基づき、達成度評価を実施し、下表の成績評価を適用する。
なお、成績評価を行うに当たり、受講者数や受講者の分布において偏った状況がある場合を除いて、平均点を75点程度とすることが適切である。

判定	評語	点数 (100点満点)	評価
合格	優	80点以上	評価の観点に照らし、合格基準を超えて達成している。
	良	70点～79点	評価の観点に照らし、合格基準を十分に達成している。
	可	60点～69点	評価の観点に照らし、合格基準を達成している。
不合格	不可	59点以下	評価の観点に照らし、合格基準を達成していない。

4. 前項にかかわらず、必修A科目及び必修B科目（S101、S102、S503を除く）については、授業担当教員は、シラバスに開示した基準に基づき、達成度評価を実施し、下表の成績評価を適用する。

判定	評語	点数 (100点満点)	評価
合格	優	100点	評価の観点に照らし、合格基準を著しく超えて達成している。
		90点	評価の観点に照らし、合格基準を大きく超えて達成している。
		80点	評価の観点に照らし、合格基準を超えて達成している。
	良	70点	評価の観点に照らし、合格基準を十分に達成している。
	可	60点	評価の観点に照らし、合格基準を達成している。
			※評価の観点に照らし、合格基準を達成していない場合は、授業担当教員は、合格に達するまで履修を継続させることができる。

5. 本学の成績証明書は、点数の幅を明記した評語をもって評価する。また、成績証明書には学業成績について厳格な成績評価を採用している旨を付記する。

6. 最終試験を実施した場合は定期試験終了後 1 週間以内に、レポートを課した場合は講義終了後 2 週間以内に学務システム入力による成績報告を行う。
7. 成績の評価に対する異議申立てについて必要な事項は、別に定める「北陸先端科学技術大学院大学における成績評価に対する異議申立てに関する要項」による。
8. 授業担当教員は、教育支援課に報告した成績評価を修正する場合、速やかに文書にて教育支援課に通知する。
9. 授業担当教員は、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学法人文書管理規則の規定に基づき、当該授業科目の成績評価から一定期間（試験終了後 1 年間）、試験問題、レポート、答案用紙等を保管することを原則とする。